

# 重点分野に対応していくための課題整理と「7つの柱」の策定（案）

第4回	全国在宅医療会議	資料
平成30年4月25日		1-2
第6回	全国在宅医療会議WG	資料
平成30年3月7日		2-1 一部改定

各団体から提出された

在宅医療の課題に対する既存の取組

を収集し、背景にある課題を分類

- ・地域の病院と在宅医療との水平連携が不足している
- ・かかりつけ医の在宅医療への参画等、在宅医療推進を支える体制が不十分である
- ・医師会等関係団体と行政との連携が進んでいない地域もある
- ・行政担当者が在宅医療について知らないことがある
- ・在宅医療に取り組む専門職の連携が不足している
- ・情報共有に関する整備（ICT等）ができていない
- ・新たな技術が在宅医療分野で活用できていない
- ・市民が在宅医療について知らないことがある
- ・市民の力を活かせていない
- ・在宅医療について発信できていないことがある
- ・在宅医療に関わる職種も在宅医療について知らないことがある
- ・在宅医療に取り組む専門職種が不足している
- ・知識・技術を習得するコンテンツが整備されていない
- ・在宅医療の教育・研修を受ける機会や体験する機会がない
- ・在宅医療に取り組む専門職の知識が不足している
- ・在宅医療の有効性が調査されていない
- ・在宅医療における研究データが整理されていない
- ・在宅医療における実践・事例を共有する場がない
- ・在宅医療において専門職が行う標準的な指標が未整備

## 【7つの柱】

- 地域の病院と在宅医療との協働体制の構築
- 行政と関係団体との連携
- 関係団体同士の連携
- ICT等最新技術の活用
- 国民への在宅医療に関する普及・啓発
- 在宅医療に関わる関係者への普及・啓発
- 在宅医療の実践に関する研究及び教育

## 【重点分野】

在宅医療に関する医療連携モデルの構築

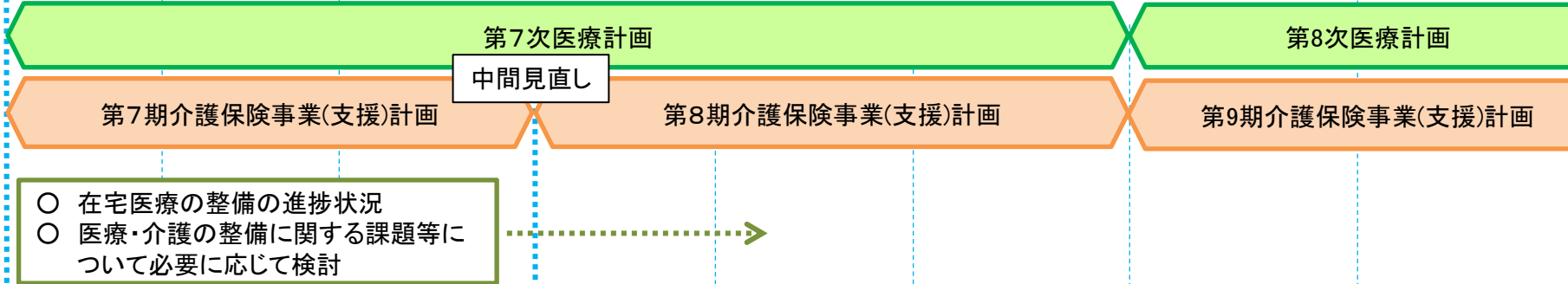
在宅医療に関する普及啓発モデルの構築

在宅医療に関するエビデンスの構築

# 今後の進め方（案）

平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度	平成 36年度	平成 37年度
------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

在宅医療  
及び  
医療・介護  
連携WG



## 重点分野及び7つの柱

### 在宅医療に関する医療連携モデルの構築

- ・在宅医療推進に向けた地域の病院と在宅医療との協働体制の構築
- ・在宅医療推進に向けた行政と関係団体との連携
- ・在宅医療推進に向けた関係団体同士の連携
- ・在宅医療推進に向けたICT等最新技術の活用

### 在宅医療に関する普及啓発モデルの構築

- ・国民への在宅医療に関する普及・啓発
- ・在宅医療に関わる関係者への普及・啓発

### 在宅医療に関するエビデンスの構築

- ・在宅医療の実践に関する研究及び教育

- 在宅医療の推進という政策の達成に向け、在宅医療提供者、学術関係者、行政が、それぞれの知見を相互に共有し、連携して実効的な活動をしていくための考え方を共有しながら取り組んでいく。

全国在宅医療  
会議